

腎・膠原病内科（腎臓） 研修で経験が望ましい項目

	<病棟>	日付	回数
A	入院時に一般指示オーダーを行った		
A	入院時に栄養評価と食事指示オーダーを行った		
A	検査オーダーを行った		
A	検査結果のアセスメントを行った		
A	静脈採血を行った		
A	輸液オーダーを行った		
A	静脈ルートを確保した		
A	動脈血ガス分析を行った		
A	中心静脈確保を上級医と行った		
A	血糖コントロールを行った		
A	血圧管理・降圧治療を行った		
A	電解質管理・治療を行った		
A	体液量の評価・治療（利尿薬）を行った		
A	導尿・バルーンカテーテル挿入を行った		
A	腎生検の検査説明を上級医と行った		
A	腎生検検査を介助した		
A	病状説明を上級医と行った		
	<血液浄化・ICU>		
A	透析カテーテル挿入を介助した		
B	透析カテーテル抜去を上級医と行った		
B	透析カテーテルによる血液透析の開始を介助した		
A	透析患者の内シャント穿刺を上級医と行った		
B	血液透析終了時の介助および回路の回収を行った		
B	シャント造影・PTA を介助した		
A	緊急透析症例の透析適応を判断した		
	<手術>		
B	術前の説明を上級医と行った		
B	内シャント手術を介助した		
B	腹膜透析手術を介助した		

	< 検討会 >		
A	受け持ち症例を提示した		
A	症例報告を行った		
	< 外来 >		
A	外来で上級医と血圧管理・血糖・脂質管理を行った		
B	外来で上級医と保存期慢性腎臓病管理を行った		

	< 経験すべき症例 >	日付	回数
	①		
A	急性腎障害（多臓器不全）		
A	慢性腎臓病の保存期管理		
A	慢性腎臓病の透析導入		
A	透析患者の合併症管理		
	②		
A	慢性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群の診断と治療		
A	糖尿病性腎症の診断と治療		
A	電解質異常（ナトリウム、カリウム、カルシウムなど）		
A	腎移植症例		

4W で計 5 例以上（①、②それぞれ 1 例以上）

8W で計 8 例以上が目安（①、②それぞれ 1 例以上）

A 4 週間で経験することが望ましい

B 8 週間で経験することが望ましい